

令和元年度 事業報告書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

学校法人身延山学園

令和元年度事業報告書 項目

〔1〕法人の概要

1. 設置する学校・学部・学科等

○身延山大学

仏教学部 仏教学科 福祉学科（29年度から募集停止）

○身延山高等学校

普通科

2. 学部・学科等の入学定員、入学者数の状況（令和元年5月現在）

○身延山大学

仏教学部 在籍者数 81 名（新入生合計 23 名）

仏教学科 在籍者数 75 名

新入生 定員 30 名 入学者数 23 名（内編入学者数 8 名）

福祉学科 在籍者数 6 名

新入生 定員 0 名 入学者数 0 名（内編入学者数 0 名）

○身延山高等学校（合計 86 名）

普通科 在籍者数 86 名

新入生 定員 40 名 入学者数 33 名

3. 役員等の人数（令和元年5月現在）

○理事 11 名（うち、理事長 1 名）

監事 2 名

評議員 23 名

4. 教員の人数（令和元年5月現在）

○身延山大学（合計 65 名）

仏教学部 教授 9 名 准教授 4 名 講師 8 名 助教 1 名

非常勤教員 43 名

○身延山高等学校（合計 25 名）

普通科 専任教諭 12 名

非常勤講師 13 名

5. 職員の人数（令和元年5月現在）

○身延山学園（法人） 嘱託 1 名

○身延山大学 専任 11 名 嘱託 3 名

○身延山高等学校 専任 2 名

〔2〕令和元年度の事業の概要

＜当該年度の主な事業の目的・計画＞

◎重点目標

1. 学園
 - (1) 財政の健全化
2. 大学
 - (1) 広報・学生募集の強化
 - (2) 教育・研究の強化
3. 高校
 - (1) 社会で活躍できる人間の育成
 - (2) 学力の向上と進路指導が充実した教育体制の構築

1. 学校法人身延山学園

1. 財政の健全化
 - (1) 収入面
 - ① 寄付金 ― 本館耐震改修工事への寄付金
7,488 千円
学長を中心に本山、宗務院、宗門各寺院、同窓会各支部等への働きかけを行なった。
 - ― それ以外の寄付金 124,160 千円
 - ② 補助金 ― 114,997 千円（国庫補助金 67,376 千円 県 47,595 千円）
国庫補助金・県補助金の対象となる事業を積極的に行い、交付金の増加に努めた。
 - (2) 支出面
各種事業(工事等にかかるもの)の凍結 ― 最低限必要な事業のみ行った。

2. 身延山大学

〔入試・広報部門〕

1. 入学志願者勧誘
 - (1) 日蓮学専攻・仏教芸術専攻（勧募も兼ねる）
 - ① 全国寺院・宗務所・同窓会・同窓会長宅等訪問
訪問先 9 訪問時期 5 月 ～ 10 月 訪問者 5 名
 - ② 寺院個別訪問における入試広報活動
訪問先 5 訪問時期 5 月 ～ 8 月 訪問者 1 名
 - (2) 福祉学専攻・仏教芸術専攻
山梨・静岡県内高等学校での入試広報活動
訪問先 57 訪問時期 5 月 ～ 翌 1 月 訪問者 9 名

(3) 専攻共通

①進路業者主催による進路相談会および出張授業

参加回数 8回 実施時期 5月～11月 担当者 7名

②本学リーフレットを近隣の宿坊、お土産店、観光協会などに配布 担当者 2名

令和2年3月6日に予定していたが新型コロナウイルス感染症蔓延のため中止

④留学生受け入れについて、留学生指定校推薦入学試験および留学生編入学試験制度を開設しており、留学生受け入れ実施に向けて日本語学校（ユニタス日本語学校）を訪問し、入試広報活動を行った。

⑤附属高等学校からの入学者確保策として、身延山高等学校推薦入学試験を開設した。指定校推薦入学試験に準じて奨励特待生制度（第Ⅲ種）を導入した。

2. オープンキャンパスの実施

オープンキャンパスは随時設定（予約制）している。また、特別開催として令和元年7月20日（土）、8月21日（水）、9月16日（月祝）に開催した。また、8月21日には進路指導教員向けの大学説明会を開催した。3日間で25名の参加があった。

3. 入学者選抜における高・大連携

(1) 身延山高等学校における高・大連携

令和元年5月11日（土）学部主催による身延山高等学校生徒対象のオープンキャンパスを実施した。当日は、1年生5名、2年生15名の参加があった。また本学への入学希望者に対しては、7月20日（土）、8月21日（水）、9月16日（月祝）に特別開催したオープンキャンパスへの動員を図り、同校より5名（日蓮学専攻5名）の入学者を確保した。

(2) 指定校推薦における高・大連携

山梨・静岡を中心に本学のアドミッションポリシーに即した高等学校を指定校とし、当該校から入学を志願する生徒を対象とした入学試験を行った。令和2年度入試は附属高校より1名の受験があった。指定校認定校数は現在169校である。

4. ホームページの改定

ホームページの掲載内容の見直しを行い、新年度の内容を付加した。

5. 入学試験の実施（学科共通）

(1) 一般公募制推薦入学試験 A — 11月3日

(2) 一般公募制推薦入学試験 B — 12月1日

(3) 一般入学試験 A — 2月2日

(4) 一般入学試験 B — 3月26日

(5) その他 宗門後継者推薦、社会福祉施設後継者推薦、社会人推薦、自己スタイル入学試験、第2、3年次編入学試験を随時実施

〔教学部門〕

1. 学部の教育課程

(1) 新入生ガイダンスの実施（入学前）

- 4月の入学式前に大学生活を送るうえでの全般的な指導
- (2) 新入生オリエンテーションの実施(4月)
履修指導、資格関係ガイダンス、久遠寺参拝、仮履修届の作成、学生ポートフォリオの説明、基礎ゼミオリエンテーションの実施
- (3) 在校生に対するガイダンスの実施(4月・10月)
履修指導、資格関係ガイダンス、学生ポートフォリオ作成に関する説明
- (4) ゼミナール・ガイダンスの実施(12月)
2年生を対象としたゼミナール・ガイダンス
- (5) 卒業論文・総合演習説明会の実施(12月)
3年生を対象とした卒業論文及び総合演習に関するガイダンス
- (6) 主専攻及び副専攻の説明会の実施(7月)
1年生を対象とした主専攻及び副専攻に関するガイダンス

2. 変動型CAP制の導入について

学生が学力に応じた十分な学修時間を確保するために設けた制度で、学期ごとの成績(GPA)により履修登録可能な単位数を上下する制度(変動型CAP制度)を採用して実施している。この制度の導入により、前学期の成績を意識して履修計画を立てる学生が増えてきている。

3. 教学IRにおける成績分布の調査及び履修指導について

学生の在学中の成績(GPA)をSランクからDランクに分類して多方面から検証し、教育・学習改善及び履修指導を行っている。

4. アカデミックアドバイザー制度の成果

専任教員がアカデミックアドバイザーとして、学生一人ひとりに対し、入学から卒業まで学修全般の指導、助言及び相談を行った。これは効果的な学習を支援することを目的に設置された制度である。特に学修支援対象者には学期当初に指導を行う等、細やかな指導を行っている。

5. オフィスアワーの実施

各教員により週に2時間以上実施。

6. 在校生に対する履修支援ガイダンスの実施

各学年終了時点で単位取得状況が芳しくない学生に個別に履修支援ガイダンスをアカデミックアドバイザーと教職員が一体となり実施し、単位取得状況の改善を促し、履修指導を行っている。

7. 高大連携授業について

身延山高等学校との連携を強めるために、身延山大学において年6回「高大連携授業」を実施している。なお、授業全てに参加し、且つ指定したレポートを提出し、内容が基準に達した生徒が本学に入学した際に、「高大連携授業の単位認定」として単位が認定される。また、甲府城西高等学校が行っている「上級学校連携講座」に本学からも参加して授業を行っている。これは県立甲府城西高等学校の高大連携

授業として認められている。同様に、県立身延高等学校の家庭科の授業の3時間分を連携講座として本学の教員が出前授業を行い、最後の一回は同校生徒が本学に来て実習事業を受講している。

8. 「大学コンソーシアムやまなし」への参加

平成19年度より「大学コンソーシアムやまなし」に参加し、県内大学との単位互換事業などの諸事業に参画している。

9. 山梨県地域未来創造センター「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業への参加

(1) 専門科目「CCRC」部門

横浜市立大学学生・大学院生と本学学生とのPBL型コラボ授業を開催し、身延町に対する廃校利用と門前町の活性化案を作成し、身延町へプレゼンを行った。

(2) 地域教養科目

「山梨県と峡南地域」「身延町の福祉文化」など地元に密着した科目を開講した。特に「山梨県と峡南地域は3日間にわたりバスツアーを行い、峡南地域（身延町・早川町・南部町・富士川町）の歴史や文化を学んだ。

10. 地域社会との連携

(1) 認知症カフェの実施

(2) 児童館活動の実施

(3) 子どもの学習支援活動の開設

(4) 地域の小中学校へ障がい者の理解に関する体験型出前授業を実施

11. FD・SD研修会開催

研修名	内 容
令和元年度授業参観（公開授業）	1. 日 時 令和元年7月9日（火） 14時00分～15時30分（4限） 公開授業（講義） 2. 場 所 大学本館2階 210教室 3. 講義名 「ビハーラ講座」 4. 講 師 本学特任准教授 村瀬正光 5. 受講学生 15名 6. 参観者 教員9名
令和元年度第1回教職員研修会	1. 日 時 令和元年9月18日（水）13時00分～14時05分 2. 場 所 大学本館2階 210教室 3. 研修名 「ハラスメントとは～理解と予防～」 4. 講 師 本学特任准教授 高橋賢充 5. 参加者 教職員21名（教員11名、職員10名）
令和元年度第2回教職員研修会	1. 日 時 令和2年2月12日（水）10時30分～11時55分 2. 場 所 大学本館3階 308教室 3. 研修名 「安心・安全な学園生活を目指して」 4. 講 師 本学特任准教授 高橋賢充 5. 参加者 教職員25名（教員14名、職員11名）

1 2. 介護福祉士実務者研修の実施

介護福祉士受験資格を得るための「介護福祉士実務者研修」を実施し、3名の受講者があった。（うち2名は身延山高校卒業生）

1 3. 申請及び届出業務について

令和元年度は次の申請・届出業務を行った。

- (1) 社会教育主事再課程申請
- (2) 一般教育訓練給付金対象講座再申請届(実務者研修)

1 4. 監査について

指定保育士養成課程監査（山梨県子育て支援局 子育て政策課）

〔学修支援部門〕

1 学生への経済的支援

(1) 奨学金制度の説明

50名超が参加 学内奨学金については支援委員会で検討、学外資金については申請手続きの補助を行なった。（4月）

なお、4月以降も年間を通して、奨学金・学納金についての相談を受けた。

申請及び届出業務

2 健康相談

(1) 定期健康診断の実施

① 身体測定（年度当初のガイダンス時 4月）

内容：身長・体重・視力・血圧

② 内科検診（5月）

③ 各種健診（4月）

内容：胸部X線間接撮影・心電図・尿検査

受診率 83%

これらの受診結果を基に、学生個々に生活指導を行なうと同時に、メンタルな健康保持のため、面接時に状況を聴取している。

カリキュラム&学修支援委員会のもと学修支援室の職員が主にその担当となる。

〔就職部門〕

(1) 就職ガイダンスと個別指導の実施

就職ガイダンス 4月に実施。4年生就職希望者については個別指導を実施。延べ90名が参加した。

(2) 就職相談の受付

年間を通して就職支援担当者が相談受付を行っており就職率は高い。令和元年度の就職率は95.2%。

〔図書館〕

(1) 図書館ガイダンス（4月）

(2) 防災訓練の実施（火災 10月）

(3) 身延山大学教授による講演会の開催（6月）

(4) 図書館図書選定委員会（4月）・図書館運営委員会（4月、3月）

- (5) 書道履修学生の作品展開催(11月)
- (6) 身延山宝物館・身延山大学図書館合同による展覧会
- (7) 身延町・南部町各教育委員会との共催により、身延山学講座の開催(10回)
- (8) ラーニング・コモンズ運用中

〔国際日蓮学研究所〕

- 1 資料の蒐集、調査及び研究
 - (1) 韓国東国大学校仏教文化研究院と身延文庫・身延山大学図書館所蔵資料調査（韓国仏教関連典籍）の実施(7月)
 - (2) ラオス世界遺産修復プロジェクトの実施（2～3月）
 - ① 仏像修復事業（塑像1体、木彫仏3体、鑄造仏1体）
 - ② 仏像修復技術者育成事業（現地美術大学及び学校講師、学生等への技術講習・仏像修復テキスト制作準備）
 - ③ 仏像安置状況・盗難仏像調査（世界遺産地域全35ヶ寺の仏像について現状調査）
 - ④ 仏像修復技法に関する調査・研究（パタイフン調査、実験）
 - ⑤ 仏像の銘文や造像様式に関する調査
 - ⑥ 仏像の三次元データ化
 - ⑦ 現地スタッフ・学生等を対象としたセミナー・ワークショップの開催
 - ⑧ 身延山大学ラオス交流仏像修復事業20周年記念法要
（導師：持田日勇 身延山久遠寺総務・身延山学園理事長・身延山大学学長）
- 2 研究成果の発表及び機関誌の刊行
 - (1) 機関誌『日蓮学』第3号の刊行（10月）
- 3 研究会及び講演会等の開催
 - (1) 例会の開催（年1回・11月）
講師 ルチア・ドルチェ教授
〈ロンドン大学 アジア・アフリカ研究院日本宗教学センター長〉（11月）
 - (2) 第七十二回 日蓮宗教学研究発表大会の共催（11月）
- 4 その他の事業
 - (1) 韓国東国大学校仏教文化研究院との共同研究成果刊行事業会議（7月）
 - (2) 仏像修復制作室（柳本伊左雄ユニットリーダー）
 - ① 七面山敬慎院修復事業（6月終了）
 - ② 京都本隆寺仏像修復(通年)
 - (3) 身延山大学ラオス交流仏像修復事業20周年記念法要
（身延山久遠寺主催・身延山大学共催、2月）
 - (4) 所員会議の実施（4月、5月、9月、12月、3月）

3 高校

- 1 教務部 学力向上・学習指導の強化
 - (1) 生徒への手帳指導（自己管理能力・目標達成能力の向上）
PDCAサイクルの定着 生徒に毎日手帳を書かせ、教員が手帳指導する

- (2) 学習指導の強化（全教職員による班別の学習指導）（定期試験前2週間・年4回）
 - ① 班別による学習計画・実行・評価・改善指導 ②強化期間中の7時間目授業の設定 ③強化期間中の朝テストの実施 ④ゼミ学習の実施（各期間中8回）⑤放課後の個別学習指導（7校時）の強化 ⑥本院寮生夜間の学習指導（18:30～20:00）
- (3) 放課後の学習会の実施（月・火・金）
 - 自宅通学生への個別学習指導・教科指導等
- (4) 検定試験指導
 - ①日本漢字能力検定試験の指導（級別指導体制・全教員による指導）
 - ア 本会場試験年3回実施 漢字模擬試験（6回）の実施
 - イ 漢字指導期間の実施（級別指導による漢字学習指導）
 - ②情報処理検定指導（Word, Excel、文書デザイン、スピード検定の技能資格）
- (5) その他の活動
 - ①放課後読書活動 朝読書週間の実施 ②スピーチ活動（SHR） ③校内弁論大会 ④競技かるた大会（百人一首大会）の実施 年2回
- (6) 教師の指導力の向上
 - ① 年間指導計画の作成 ②シラバス作成と生徒へのガイダンス指導（4月）
 - ③ 指導案授業の実施と授業見学の実施（6月・2月）
 - ④ 職員の技能資質向上 職員研修の実施（年4回）（外部講師研修3回）

2 生徒指導部

- (1) 講演会・教室の実施等
 - ①携帯電話利用教室（4月）②薬物乱用教室（7月）③交通安全教室（7月）
- (2) 登下校指導
 - ①JR身延駅前指導（隔月1回）②JR市川大門駅指導（年3回） ③スクールバス指導（4月）
- (3) 防災訓練
 - ①避難訓練（4月・6月・9月）②防災訓練及び救急法・AED講習（中部消防署）（6月） ③下校訓練（6月）
- (4) 生徒育成
 - ① 誓願式（4月）・誓願法要式（6月） ② 身延山ルールブックの定着（通年）
 - ② 生徒信条（六波羅蜜を毎日SHRで唱和する） ④ 挨拶指導週間の実施
 - ⑤ 規律指導週間の実施 ⑥ 教室ロッカー整理期間の実施

3 進路指導部

- (1) キャリア教育
 - ①進学ガイダンスの実施（4月）②就職ガイダンスの実施（4月）③就労体験の実施（5月）④1日看護体験の実施（6月）⑤進路面接指導開始（3学年4月～、2学年11月～）
 - ⑥進路希望調査の実施 ⑦合同就職ガイダンス及び面接練習（7月）
 - ⑧身延山大学オープンキャンパス参加（2学年・5月）

(2)進路状況	27名		
進 学	身延山大学	5名	他4年制大学 6名
	専門学校	11名	就 職 5名

4 生徒会活動

(1) 諸行事・部活動

①新入生対面式（4月）②新入生歓迎会（5月）③体育祭（10月）④学園祭（7月）⑤生徒総会（4月）⑥生徒会役員選挙（12月）⑦高等学校芸術文化祭総合開会式参加⑧高等学校芸術文化祭 各部門（JRC委員会・茶道部・雅楽部）⑨生徒会挨拶運動（月1回）

5 その他教育活動

(1) 諸行事

①新入生宿泊研修（5月）②3学年ハワイ修学旅行（5月）③奥之院登詣（5月）④新入生霊跡参拝（4月）⑤校内弁論大会（10月）⑥百人一首大会（12月・1月）⑦卒業生を送る会（2月）⑧田富みかさ幼稚園交流（12月・2月）⑨三者面談（5月・7月）

(2) 身延山久遠寺法要出仕

①御聖日出仕 読誦会・御廟参（毎月13日）②三大会出仕（釈尊降誕会・開闢会・宗祖涅槃会）③四大法難会出仕（伊豆法難会・松葉谷法難会・龍口法難会）

(3) 部活動

①手話コミュニケーション部
ボランティアアワード賞（風に立つライオン基金）
手話検定3級合格（3名）
②競技かるた部 全国高等学校芸術文化祭 団体戦出場
関東大会出場（個人戦）

6 施設・設備

LED電気工事（トイレ・玄関等）

7 同窓会・師親会

(1) 師親会

①師親会（PTA）役員会及び師親会（PTA）総会（5月）
②師親会（PTA）講演会（5月）

(2) 学園同窓会

①静岡駿河支部同窓会 ②九州支部同窓会 ③山梨県支部同窓会 ④北海道支部同窓会

8 生徒募集活動

(1) 中学校訪問（山梨県・静岡県）

①6月・12月実施 ②身延中学校進路説明会（7月）③南部中学校説明会（6月）
③生徒による出身中学校への訪問・広報（夏期休業中）

(2) 学校説明会

① 毎月実施（6月・7月・8月・9月・10月・11月・12月）

② 中学校教員対象学校説明会の実施（7月9日）

(3) メディア広報その他広報

① ホームページの更新 ② 週1回以上のフェイスブックの更新 ③ みのぶ誌への教育活動の掲載 ④ 日蓮宗新聞への広告掲載 ⑤ 岳南新聞への広告掲載

⑥ 仏教コースパンフレット作成 ⑦ 全国日蓮宗青年会総会 ⑧ 度牒（清澄寺）

(4) 平成31年度（令和元年度）入試状況

受験者数：42名 合格者数：42名 入学者数：33名

9 保健環境部

身体測定（4月） 内科検診（4月） 健康診断（4月） 歯科検診（4月）

眼科検診（6月） 耳鼻科検診（6月） 水質調査（6月）